

# 山元町議会議員のなり手不足 対策調査特別委員会 議事録

日時：令和7年12月17日（水）

11：30～

場所：第1・2委員会室

出席者

委員名 委員長 伊藤 貞悦 副委員長 竹内 和彦 委員 大和 晴美  
委員 渡邊 千恵美 委員 岩佐 秀一 委員 齋藤 俊夫

欠なし

## 会 議 次 第

### 1 開会宣告【委員長】

### 2 連絡

※ SideBooksの05\_特別委員会 議会議員のなり手不足対策調査特別委員会フォルダ及びチームスに次第・資料を格納します。確認をお願いいたします。

- 1 日時 令和8年2月15日（日）13：30 研修会  
テーマ：「なり手不足を考える現状と課題について」  
周知方法：HP・行政区回覧又は全戸配布（1月第3週）・議会だより
- 2 会場 ひだまりホール会議室5（3階）
- 3 講師 河村和徳氏（拓殖大学教授）

### 3 所管事務調査

#### (1) 調査項目及びスケジュールの決定について

- ① 調査項目について
- ② スケジュールについて

【委員長】 亶理町の視察を受けてスケジュール等の意見を。

【事務局長】 連絡に記した有識者からの講演会日程を説明。

【委員長】 広報手段は。→連絡欄に記載。

【齋藤委員】 アンケート時期と各種団体の意見聴取をずらすことも考えられないか。聴取の材料にするためにも。また、意見聴取団体へ先んじて話を置く機会があるといいのではないか。

【渡邊委員】 賀詞交歓会の機会など。

【委員長】 議長から挨拶と声掛けをお願いしている。紙面が準備できれば。講演会にも参加してもらえるように。講演会には広く参加を団体に声掛けを。

団体の選定をどうするか。亶理町に倣うか。代表者か、それとも多くの出席を望むか。

( 亶理町の例：亶理町区長会、まちづくり協議会、亶理山元商工会、JA仙台亶理支店、宮城県漁業協同組合仙南支所、PTA )

【齋藤委員】本町との違いがある分は調整する必要がある。

【委員長】団体を選定して委員に示すことができるようにする。

【岩佐委員】あまり声がけしても会場キャパシティどうか。

【委員長】そこまですなつたときは別に考える。講演会は文書作成する。

【大和委員】全戸配布か。回覧か。

【岩佐委員】回覧でいいのでは。

【渡邊委員】LINEとかでも流すか。

【委員長】ホームページにも掲載する。回覧とする。1月の段階で各団体の決定と案内の文案を次回委員会に提案する。

【事務局長】河村先生の講演会のテーマの決定、講演会を継続することを前提に検討してもらいたい。

【岩佐委員】なり手を先にあとから報酬では。

【齋藤委員】「なり手不足を考える現状と課題について」といったオーソドックスなもので、それに続く内容でその後の講演会も検討していると伝えるのでどうか。

【事務局長】亶理町の危機意識は、定数減後の欠員。本町の意識付けをしっかりとすべきではないか。当日の委員長の挨拶などにも、課題やポイントを整理すべきではないか。

【齋藤委員】先の実態は広まっていがないが、駆け込みで定数になっている。

【委員長】河村先生講演会はそうとして、その後どうするのか。

【齋藤委員】アンケートと団体意見交換同時ではなく、アンケートを材料にすべきではないか。

【委員長】アンケートの時期をどうするか意見を。1月か。

【齋藤委員】亶理町に倣うとすればアンケート開始から1か月ほどで、意見交換会にしている。ずらすといいのではないか。

【委員長】次回までスケジュール案修正を。次回は1月8日賀詞交歓会后、議会広報午後からまでにおえる。回覧1月21日も含め。案を渡邊委員作成。各団体の決定と案内の文案は正副委員長と事務局で調整。

#### 4 その他

#### 5 閉会宣告【委員長】

( 12:17閉会 )